

令和6年9月9日

職員の皆さんへ

前橋市長 小川 晶

## 令和7年度予算編成方針

### 当初予算編成に向けて

就任以来、職員の皆さんには一貫して、市民目線で物事を考え、市民のためになるかどうか、市民に納得してもらえるかどうかを大切にしてほしいと伝えてきました。

そこで、令和7年度の予算編成にあたり、前橋市の行財政運営の現状に関して感じていることについてお話ししたいと思います。

先に実施された事業の総点検で説明を受けた中長期収支予想の中で、公共施設やインフラの老朽化が想像以上に酷い状態であり事後修繕や予防保全に今後5年間で膨大な経費を見込まなくてはならず、また、急激な高齢化に伴う社会保障負担の漸増など、本市を取り巻く状況は予断を許さぬ厳しい状況にあると痛感しました。

こうした中にあっても、前橋の未来に向かって種を蒔き続けなければなりません。私自身、職員の皆さんとともに、学び、汗をかき、知恵を絞って予算編成に取り組んでまいります。

限られた財源の中で、時代の変化に対応した持続可能な行財政運営を進めていくためには、一つひとつの事業について、常に見直しと改善を行うことが重要です。「この事業は何のためにやっているのか」という原点に立ち返って、「費用対効果はどうか」「他の方法はないのか」「いつまで続けるのか」を問い続け、事業価値の向上を意識してください。

また、市民ニーズは多様化・複雑化していますが、より良い市民サービスを提供するには、市役所の働き方の改善も必要です。時代に即した新規事業を要求するにあたっては、スクラップアンドビルドと事務効率の向上を徹底してください。

さらに、予算編成における事業の見直しにあたっては、外部の関係者等との調整に時間がかかるものや市民への周知期間を要するもの、条例等の改正

が必要なものなど、時には厳しい選択をしなければならないケースもありますが、長期的視点での事業の見直しを意識してください。

予算編成は政策形成の手法の一つです。できるだけ多くの職員の皆さんに予算について主体的に考え、課題を先送りすることなく、現実と向き合い、未来を変えていくという強い意志を持って取り組んでいただきたいと思います。

私はこれまで多くの職員の皆さんとの対話を通じて、一人ひとりが持っている能力や可能性の大きさを感じることができました。そんな前橋市職員力を合わせれば、きつこの難局を乗り越え、前橋の未来に笑顔をもたらすことができると私は信じています。

## 基本的な考え方

### 1 市民目線を第一に

全ての事業は、市民目線を第一に、「市民のためになるかどうか」を基準として、より効果的な事業となるよう見直します。

### 2 こども子育て最優先

こども子育てに対する支援は、人口減少対策であるとともに、経済対策にもつながります。将来を担う、こどもや子育て世代に目を向け、社会全体で支えていくという前向きなメッセージとなる予算を編成します。

### 3 持続可能な財政運営

5つの基本政策や、既存の事業を継続的に実施していくためには、多額の予算が必要となります。事業の総点検で検証した内容を確実に予算に反映するとともに、持続可能な財政運営となるよう、財政の健全性に十分留意します。

## 5つの基本政策

- 1 子育てと教育を最優先！こどもの未来が、輝く前橋へ。
- 2 安心して住み続けられる、誰もが暮らしやすい前橋へ。
- 3 経済の活性化と雇用の創出、働く人を支える前橋へ。
- 4 水と緑、歴史と文化、多様性が共生する、魅力あふれる前橋へ。
- 5 市役所改革と市民参加で、あたらしい前橋へ。